

広島大学



広島テクノプラザ

資料提供  
令和6年9月18日  
㈱広島テクノプラザ  
担当：小早川  
連絡先：082-420-0500

本書はこちらから閲覧できます 



(株)広島テクノプラザによるEチャンバー（高電圧対応電波暗室）  
の運営開始について

## 1 趣旨

自動車のEV化等に対応するため、広島大学デジタルものづくりイノベーション拠点内に『Eチャンバー』が整備され、令和6年9月からEMC試験の豊富なノウハウを有する(株)広島テクノプラザが運営を開始した。

なお、この高電圧対応のEチャンバーは、公開されている施設としては、西日本初（近畿・中四国・九州地方）となる。

(株)広島テクノプラザ

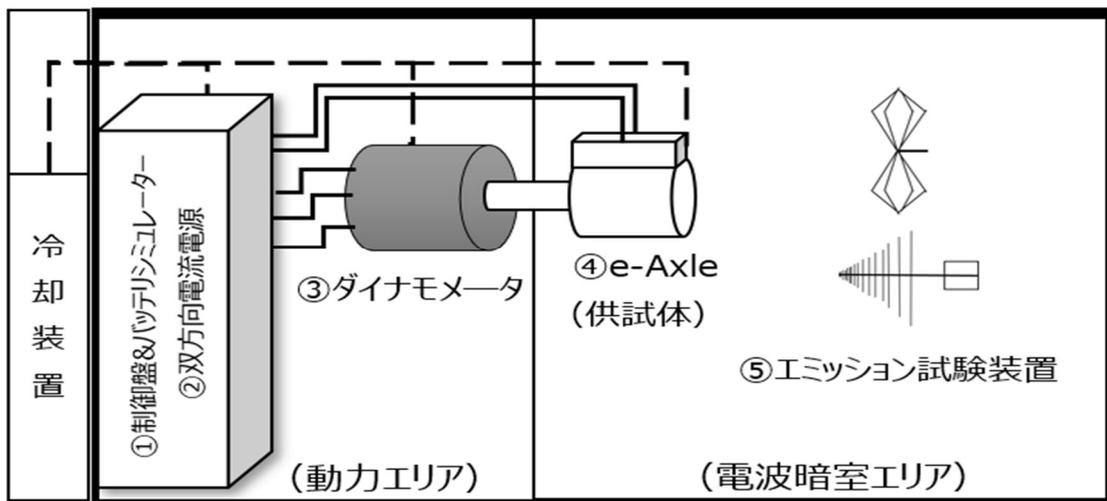
『地域産業の高度化に寄与する特定事業の集積の促進に関する法律（頭脳立地法）』に基づき広島県が策定した「広島中央地域集積促進計画」に基づいて、平成2年4月に設立された第三セクター方式の株式会社である。

※Eチャンバーとは、電気自動車（EV）やハイブリッド車（HV）に搭載される高電圧モーターやインバーター等のEMC評価を行うための電波暗室のこと。電動駆動ユニット開発において、より高精度なモデル構築や部品開発に必要な設備とされている。

※EMCとは、Electromagnetic Compatibilityの略で、JIS（日本産業規格）では電磁両立性と定義され「電磁的妨害源とならないよう、かつ、電磁的な干渉を受けないよう、あるいは受けても正常に動作する（両立する）」ように設計・製造されなければならない。

## 2 Eチャンバーの概要

紹介動画はこちら  <https://youtu.be/JfUsK0zEbGw>



高電圧電源①②で e-Axle④(供試体)を駆動させ、ダイナモメータ③により負荷をかけながらエミッション試験装置⑤でEMC性能を測定・試験することが可能となり、より精度の高いモデル構築や部品開発が可能である。

※e-Axleとは、モーター・インバーター・減速機の1体ユニット

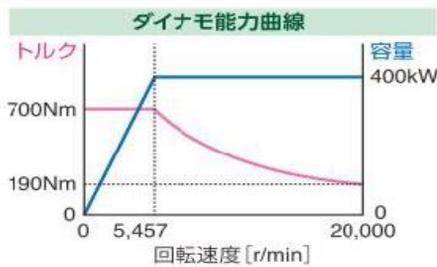
# 第7電波暗室 Eチャンバー

## ■ 第7電波暗室 (Eチャンバー) 基本スペック

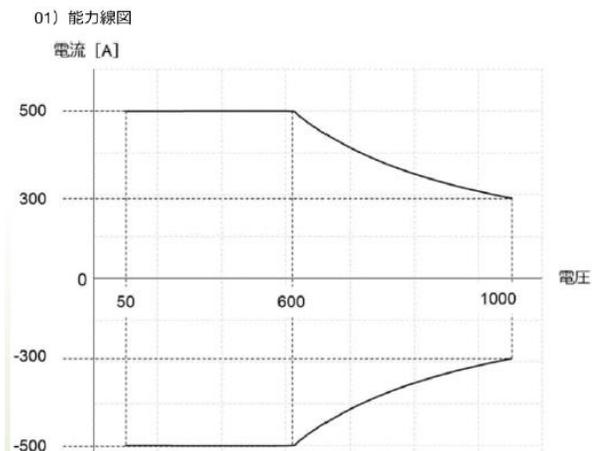
構造 : シールドパンパネル組立式 重荷重対応構造  
 サイズ : W8.0×L10.0×4.75 (H) m  
 シールド性能 : 10kHz～150kHz -60dB / 150kHz～30MHz -100dB : 磁界  
 10kHz～ 30MHz -100dB : 電界  
 30MHz～ 6GHz -100dB : 平面波  
 6GHz～ 18GHz -80dB : 平面波

## ■ ダイナモ能力 大容量・高速ダイナモメータ

定格出力	400kW
基底/最高回転速度	5,457/20,000r/min
定格トルク	700Nm
過負荷耐量	125% 3分間



## ■ バッテリーシミュレータ (BTS) 能力



02) 諸元一覧

No.	項目	備考
01	容量	300 kW
02	定格電圧	1,000 V
03	定格電流	±500 A 600V以下 ±300 A 1,000V
04	過負荷	なし

## ■ ご利用料金

【税込料金】

(単位:円)←

区分←	1日基本料金(8h)←		半日基本料金(4h)←		超過料金(30分)←	
	放射 EMI←	伝導 EMI←	放射 EMI←	伝導 EMI←	放射 EMI←	伝導 EMI←
ダイナモ使用有り←	550,000←	418,000←	—←	—←	41,250←	31,350←
ダイナモ使用無し←	220,000←	167,200←	110,000←	83,600←	16,500←	12,540←

※特殊なケースは、見積書により対応します。←



お問い合わせ ☎ (082) 420-0500

メールでのお問い合わせ <https://www.h-techno.co.jp/contact/>

URL: <http://www.h-techno.co.jp/>